



～マンドリンのまち前橋～
朔太郎音楽祭 2022

マンドリン オーケストラ 演奏会

指揮 青山 忠
(朔太郎音楽祭音楽監督)

2022 10.23 [日]

昌賢学園まえばしホール | ○13:00 開場
(前橋市民文化会館) 大ホール | ○14:00 開演

今回は入場制限を行いません。マスク着用、検温、手指の消毒など感染予防対策にご協力ください。

入場
無料

第I部 高校生の部

出演 群馬県立前橋高等学校ギター・マンドリン部
群馬県立前橋女子高等学校ギター・マンドリン部、卒業生有志
演奏曲 『千と千尋の神隠しメドレー』 久石 譲 作曲/青山 涼 編曲
『海辺の時計台』 青山 涼 作曲
『海の組曲』 A.アマディ 作曲

第II部 朔太郎を歌う

出演 今井俊輔(バリトン)/渋川ナタリ(ピアノ)
演奏曲 『風船乗りの夢』、『時計』、『晩秋』 武藤理恵 作曲

第III部 社会人・大学生の部

出演 群馬マンドリン楽団/前橋マンドリン楽団/ラバースマンドリンクラブ
ピノマンドリーノ/群馬大学マンドリンソサエティ/公募による一般参加者
演奏曲 『ローラ序曲』 H.ラビトラノ 作曲
『ミヌエット』 D.ペルーティ 作曲
『風の谷のナウシカ』より『鳥の人』 久石 譲 作曲/青山 涼 編曲
『もののけ姫』より『もののけ姫～アシタカセッ記』 久石 譲 作曲/青山 涼 編曲
『華・Japanesque』 武藤理恵 作曲

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、内容を変更させていただく場合があります。

主催 ～マンドリンのまち前橋～ 朔太郎音楽祭実行委員会・前橋市

共催 前橋市教育委員会・(公財)前橋市まちづくり公社

後援 (一社)日本マンドリン連盟・前橋商工会議所・(公財)前橋観光コンベンション協会・朝日新聞社前橋総局・産経新聞前橋支局・上毛新聞社・高崎前橋経済新聞・東京新聞前橋支局・毎日新聞前橋支局・読売新聞前橋支局・共同通信社前橋支局・時事通信社前橋支局・NHK前橋放送局・栃エフエム群馬・群馬テレビ㈱・㈱J・COM群馬・㈱まえばしCITYエフエム

協賛 秋葉写真館・アクサ生命保険㈱ 前橋営業所・㈱アクティブ・アサヒライズ㈱・伊香保 おもちゃと人形 自動車博物館・㈱エフエム群馬・MSD商事㈱・㈱小川屋・㈱片桐商店・カネコ種苗㈱・技研コンサル㈱・㈱クライム・群馬交友協会・ぐんま共済協同組合・群馬銀行・(一社)群馬県建設業協会前橋支部・群馬トヨベツ㈱・群馬日野自動車㈱・群馬ヤクルト販売㈱・群馬馬旅行・現代仏蘭西料理「朝詩舎」・光蔵寺・㈱コダカホールディングス・小林工業㈱・㈱サンワ・GNホールディングス㈱・自家繁殖犬直販 かるなばーる・清水タクシー㈱・上毛倉庫㈱・上毛電業㈱・㈱ジンスホールディングス・㈱鈴木ストア・㈱ステージサービス群馬・税理士法人けやき総合事務所・㈱総合PR・損害保険ジャパン㈱・大栄産業㈱・㈱旅がらす本舗 清月堂・中央カレッジグループ・前中央電機商会・㈱中央ビジネス・TM企画・TMの会・㈱天国社中央 ホテルサンダーソン・東京冷機工業㈱・㈱東和銀行・富沢鉄工㈱・㈱登利平・永井運輸㈱・㈱永井組・㈱西建・日本ピアノホールディングス㈱ピアノプラザ群馬・㈱スクイ・ネットヨク群馬㈱・聖酒造㈱・平方木材㈱・㈱ヒロタ・福島産業㈱・不二建設㈱・㈱ブレーン・㈱ホテルルカ・㈱ホンダカーズ群馬・㈱メグスタジオ・(公財)前橋観光コンベンション協会・前橋高校京浜同窓会・(公財)前橋市まちづくり公社・前橋商工会議所・マチダホールディングス㈱・宮下工業㈱・山口会計・ユーコム㈱・㈱吉田鉄工所

～マンダリンのまち前橋～
朔太郎音楽祭 2022

マンダリン
オーケストラ
演奏会



朔太郎音楽祭

2006年(平成18年)は前橋市が生んだ詩人、萩原朔太郎の生誕120年でした。朔太郎は自分でもマンダリン用の曲を作曲するなど、マンダリンをこよなく愛していました。そこで、朔太郎とマンダリン音楽の融和を図りマンダリンを前橋市の文化として定着させることなどを目的として「前橋マンダリンフェスタ2006」を開催しました。

2007年(平成19年)以降は、名称を「～マンダリンのまち前橋～朔太郎音楽祭」と改め、さらなる「マンダリンのまち前橋」の発展に努めています。音楽祭10周年を迎えた2015年には、マンダリン音楽の第一人者青山忠氏が音楽監督に就任し、高校生の部、一般の部と二つのマンダリンオーケストラを結成して、より高度な演奏を目指しています。

今年も新型コロナウイルスは猛威を振るっていますが、感染症拡大予防に万全の対策を講じながら、マンダリン演奏を中心とした音楽祭を通じて前橋の文化芸術に貢献するという使命のもとに、本年の音楽祭を開催してまいります。

萩原朔太郎

明治19年(1886年)～昭和17年(1942年)。詩人。父密蔵は前橋の開業医。前橋中学校時代に従兄弟である萩原栄次から短歌の手ほどきを受け文学の道に入りました。卒業後、熊本第五高等学校、岡山の第六高等学校に進んだが中退。後に詩に転向し、大正6年、第一詩集『月に吠える』によって、日本近代詩に不滅の金字塔を打ち立てました。朔太郎の詩業は、近代的思想を感覚的に書き上げ、わが国における口語自由詩を確立しました。『青猫』『氷島』などの詩集のほか、多くの評論集があります。

マンダリンと朔太郎

前橋中学に在学中だった萩原朔太郎は、父から貴重な輸入マンダリンを買い与えられます。前橋中学卒業後、熊本五高などを中退し東京での生活を送りますが、その間、マンダリン指導者・比留間賢八らにマンダリン・ギターを習いました。やがて帰郷し音楽と詩作活動を併行して展開、朔太郎は前橋で音楽愛好家を集め「ゴンドラ洋楽会」(のちの「上毛マンダリン倶楽部」=群馬交響楽団設立母体のひとつ)を設立し、再び上京するまでの10年間自ら指揮者として県内各地で熱心に演奏活動を行いました。朔太郎は群馬におけるマンダリン音楽、ひいてはクラシック音楽の先駆者でもあったのです。

音楽監督・指揮 青山忠 Tadashi Aoyama

2015年より朔太郎音楽祭音楽監督。NHK交響楽団、読売日本交響楽団など日本の主要なオーケストラと多数共演。熊川哲也主宰 Kバレエカンパニー公演「ロミオとジュリエット」に参加。映画では、「クローズド・ノート」「スノープリンス 禁じられた恋のメロディ」「奇跡のリンゴ」「風立ちぬ」などの劇中にてマンダリンやバラライカを演奏。テレビでは、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲2」や、NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」などの劇中にてマンダリンを演奏。

シンガーソングライター山梨繭平、歌手石野真子のライブやレコーディングに参加。2013年、2019年に久石譲&ワールド・ドリーム・オーケストラのコンサートにゲスト奏者として出演。全日本マンダリン合奏コンクール審査員を務める。マンダリン合奏団の指導や楽譜の出版にも力を注ぐ。これまでに27枚のCDをリリースしており、今年4月にリリースされた「弦色浪漫(げんしよくろまん) 17巻」も好評発売中。



オペラ歌手・バリトン 今井俊輔 Syunsuke Imai

東京藝術大学大学院修了。その後イタリアへ渡り研鑽を積む。2013年ライブツィヒとの提携公演「マクベス」マクベス役でデビュー。以降「トスカ」スカルピア、「外套」ミケーレ、「アイダ」アモナズ口、「ファルスタッフ」ファルスタッフ等、多くのオペラに出演。劇場を包む声量と明るく倍音の豊かな響き、かつ黒く深い音色で聴衆の耳を掴むバリトンであり、卓越したテクニックと表現力の

いずれもが絶賛され、国内外の指揮者やオペラ演出家からも評価が高い。2003年よりBS日テレ「BS日本・こころの歌」にコーラスグループFORESTAとして活動。2,000曲近い曲目をレパートリーとして納めている。また親しみやすいトークを交えたソロコンサートでも多くのファンを魅了している。第19回2021年度上毛芸術文化賞受賞。東京二期会会員。オフィシャルウェブサイト&後援会<https://imaisyunsuke.jp>



ピアノ 渋川ナタリ Natali Shibukawa

ドイツ人の父と日本人の母のもと前橋市に生まれる。前橋女子高校、東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。国際ロータリー財団国際親善奨学生及びPossehl財団奨学生としてドイツに留学し、リュベック音楽大学大学院を修了。Brahms Festival, Oberstdolfer Musiksommer等、ドイツ各地でソロと室内楽の演奏活動を行う。帰国後、東京藝術大学大学院博士後期課程修了。博士(音楽)。ソロリサイタルやオーケストラとの共演、声楽や器楽との共演に加え、美術やバレエなど異分野の芸術とのコラボレーションも積極的に行っている。2019年に1stアルバム「母から子に贈るやすらぎのクラシックピアノ小品集」をリリース。群馬出身の音楽家たちによる演奏団体MusicaConcad'oro、デュオ・フェアデ、トリオ・フェアデ各メンバー。地元根拠した活動も積極的に行っている。現在、東京藝術大学非常勤講師。日本クラシック音楽コンクール、セシリア国際音楽コンクール等の審査員を務める。



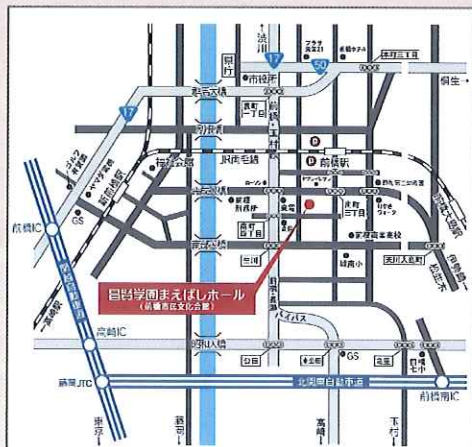
同時開催

あの頃の懐かしい「時」が目の前に
「前橋原風景写真展」

～アマチュアカメラマン井上道夫が遺した昭和の風景～

観覧無料

10月20日[木]～23日[日] 10時～17時
昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)
小展示ホール



お問い合わせ

～マンダリンのまち前橋～朔太郎音楽祭実行委員会事務局

〒371-0022 前橋市千代田町 3-12-10 水と緑と詩のまち前橋文学館内 TEL:027-235-8011